

令和 8 年 2 月 1 9 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 新棟 Science Knot の報道関係者見学会を開催

本学では、J-PEAKS の重点拠点である WPI-SKCM² (超物質拠点) において、総勢 100 人以上の研究者がアンダーワンルーフで研究できる研究棟 (6 階, 3400 m²) と、社会実装・イノベーションの促進を目指す産学官共同研究棟 (6 階, 2600 m²) の一体化した合築棟を 1 月 23 日に竣工しました。様々な科学の「結び目」(Knot) として、J-PEAKS のビジョンである「異分野融合イノベーションエコシステム拠点」の中核施設へ発展することを願い、本施設は、**Science Knot** と命名されました。

この度、2 月 16 日(月)に報道関係者を対象とした Science Knot の見学会を開催し、当日は報道各社から 7 人の参加がありました。新たな施設や設備に関する担当者の説明に熱心に聞き入る姿が見られ、参加者からは、今後の発展に対する高い期待が寄せられました。

写真 1 【Science Knot の外観】

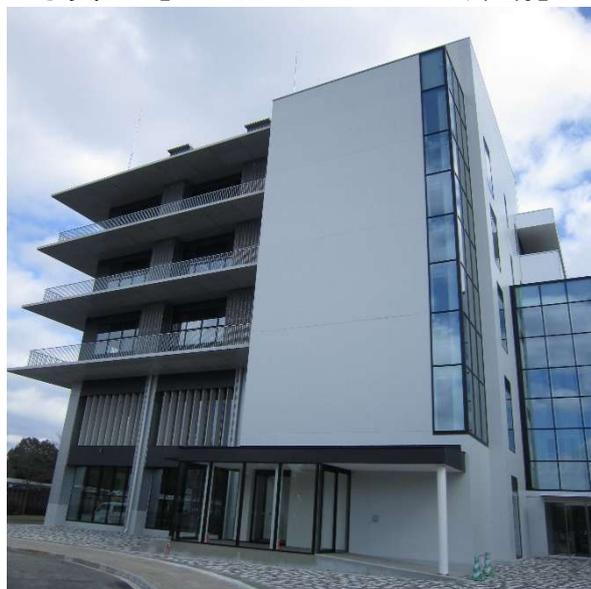


写真 2【報道関係者対応見学会】



本施設の 1 階には、交流ロビー・Web 会議ブース並びに社会との双方向的対話を促進するアウトリーチスペースを設けるとともに、共同研究で利用可能な電子顕微鏡、クリーンルームを設置しています。2 階には、シーズ発掘からスタートアップ、産学官連携への成長ステージに伴う機動的なサポートの実現を図るため、産学連携や研究支援を行う専門スタッフのインキュベーションオフィスと、国際会議に対応する大会議室を備えています。3 階から 5 階は、オープンイノベーションラボとして、共同研究のパートナーとなる企業が最大 12 社入居可能であり、また、研究者と入居企業との交流を促進するクロススペースを設けています。なお、入居企業に対しては、東広島市および広島県による企業誘致支援制度も整備されており、研究開発拠点の新設やサテライトオフィス開設に際して、設備投資・オフィス賃料・人材確保などの助成を受けることができます。本学との共同研究にご興味のある企業の皆様は、ぜひ以下をご覧のうえ、入居をご検討ください。

URL : <https://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/7aa48df6681a76bd6e1f374d72fcc2eb.pdf>

(2) フェニックス特別研究員 NEXT（令和 8 年度採用）の公募について

広島大学では、J-PEAKS 事業の一環として、令和 8 年度採用の「フェニックス特別研究員 NEXT」の国際公募を実施しています。本制度は、本学の優れた研究者との共同研究を軸に、独創的で国際競争力のある研究を推進する国内外の卓越した若手研究者を広く募集するものです。

今回の公募では、国内外の研究者が国や地域を問わず応募しやすい環境を整えるため、J-PEAKS 事業で新たに導入したオンライン公募システムを活用しました。今後も、同システムの活用を通じて、世界水準の研究者の頭脳循環・頭脳集積を加速させるとともに、研究力のさらなる高度化につなげていきます。

応募締切は、令和 8 年 2 月 27 日（金）正午（日本時間）です。

詳細はこちら（公募情報・オンライン申請ページへ）

URL：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/news/95140>

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は2023年度に採択され、2028年度までの6年間で総額55億円の財政支援が予定されています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略グループ 前田

TEL:082-424-5656

Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 8 年 2 月 19 日

国際シンポジウム「戦略としてのインターンシップ」
— 北米の大学における実践例 — 開催のお知らせ

令和 5 年度に採択された文部科学省の「大学の世界展開力強化事業（アメリカ）」の一環として、国際シンポジウム「戦略としてのインターンシップ — 北米の大学における実践例 —」を開催します。

本事業では、学生交流プログラムの一環として、米国の連携大学と共同でインターンシッププログラムを実施しています。本シンポジウムでは、先進的なインターンシップに取り組む北米の企業および大学関係者を招聘し、AI 時代におけるインターンシップ活用の先進事例やデータに基づく分析、日本企業が直ちに実践可能なモデルについて共有します。

あわせて、インターンシップを通じた新たな価値創出を目指す産学連携モデルを探究し、大学・企業双方にとって持続的な成果につながる具体的アクションへとつなげることを目的としています。

記

日時：令和 8 年 3 月 19 日（木）13：30～16：30（受付開始 13：00）

場所：広島国際会議場 地下 2 階 コスモス（広島市中区中島町 1-5）

主な内容（予定）

- ・ 北米大学・企業による先進的インターンシップ事例紹介
- ・ パネルディスカッション

※詳細は添付チラシ参照

参加案内

- ・ 参加費：無料（事前申込制）
- ・ 定員：80 人
- ・ 言語：日本語・英語（同時通訳あり）
- ・ 申込期限：令和 8 年 3 月 10 日（火）

※添付チラシに記載の二次元コードよりお申し込みください

【お問い合わせ先】

国際室 国際部 留学交流グループ

TEL：082-424-4346

E-mail：kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

令和5年度採択文部科学省「大学の世界展開力強化事業（米国）」

国際シンポジウム

「戦略としてのインターンシップ」

ー北米の大学における実践例ー

AIの急速な発展とDXが加速する現代において、企業が求めるスキルセットや働き方は大きく変化しています。AIリテラシーを備え、変化に適応できる若手人材をいかに確保し育成するかは、企業成長とイノベーションの源泉として極めて重要度を増しています。

世界の先進企業では、インターンシップを単なる就業体験ではなく、AI時代に対応したタレントパイプラインを構築する戦略として再定義し、その機会を通じて、デジタルスキルを持つ学生の発掘、AI活用を前提とした新規アイデアの検証、組織の多様性強化など、多面的な価値創出を進めています。

本シンポジウムでは、AI時代におけるインターンシップ活用の先進事例、データに基づく分析、そして日本企業が即実践可能なモデルを、企業リーダーや教育機関の専門家とともに共有します。

日時

2026年3月19日(木)

13:30 - 16:30

受付開始 13:00～

言語：日本語・英語
(同時通訳付き)

会場

広島国際会議場

地下2階 コスモス

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5

開会挨拶

13:30～

広島大学 学長

越智 光夫



報告 1

13:35～

ウォータールー大学 (カナダ) 暫定副学長補佐

Judene Pretti



報告 2

14:00～

Scotiabank (カナダ) 副社長 (資産運用・保険部門担当)

Julie Cowan



報告 3

14:25～

アリゾナ州立大学 (アメリカ) 未来社会イノベーション学部長

Eusebio Scornavacca



報告 4

14:50～

アリゾナ州立大学 (アメリカ) AIクラウドイノベーションセンター
社外コンサルタント (Amazon Web Service)

Colleen Schwab



パネルディスカッション

15:30～

広島大学 理事・副学長 (グローバル化担当)

ファシリテーター：金子 慎治

パネリスト：講演者及び
経済産業省 中国経済産業局 局長

林 揚哲



閉会挨拶

16:20～

広島大学 理事・副学長 (グローバル化担当)

金子 慎治

参加無料 / 事前申込制

お申し込みはこちらから

定員: 80名

申込期限:
3月10日(火)



共催:

広島大学「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」

広島大学「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」

広島大学国際室国際部留学交流グループ

TEL: 082-424-4346

Email: kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 8 年 2 月 19 日

第 30 回広島放射光国際シンポジウム
**「放射光を活用した物質科学と生命科学研究の将来展望：
HiSOR-II 高度化計画に向けて」を開催します**

広島大学放射光科学研究所は、第 30 回広島放射光国際シンポジウム「放射光を活用した物質科学と生命科学研究の将来展望：HiSOR-II 高度化計画に向けて」を開催します。

本国際シンポジウムでは、高輝度小型放射光源（HiSOR-II）への高度化計画（HiSOR-II 高度化計画）に向けて、世界を牽引する研究者をお招きし、放射光を利用した最先端の物質科学研究と生命科学研究や新たな融合研究の展開、および放射光を発生させる加速器の研究についてご講演いただきます。

また、本研究所を利用して得られた最新の研究成果について、学部学生や大学院生がポスター発表をします。

入場無料ですので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

記

【期間】

令和 8 年 3 月 3 日（火）～ 4 日（水）

【場所】

広島大学東広島キャンパス 学士会館 2F レセプションホール

【プログラム】別紙ポスターをご参照ください

【主催】広島大学放射光科学研究所

【協賛】日本放射光学会

【後援】広島大学（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）

【お問い合わせ先】

広島大学放射光科学研究所事務室
TEL：082-424-6293
FAX：082-424-6294
E-mail：hisor@hiroshima-u.ac.jp

第30回 広島放射光国際シンポジウム

VUV – SX シンクロトロン放射を用いた
物質科学・生命科学
将来のHiSOR-IIプロジェクトに向けて

広島大学学士会館
2階レセプションホール
令和8年3月3日～4日

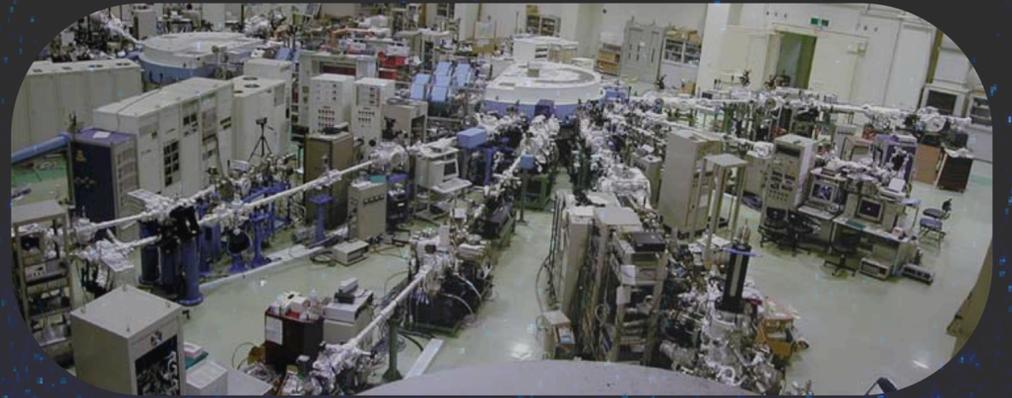
1日目 3月3日 (火) 09:30 ~ 17:30

【講演】

- Sidney Hecht
アリゾナ州立大学, アメリカ合衆国
- José Luiz S Lopes
サンパウロ大学, ブラジル
- Seth Ariel Tongay
アリゾナ州立大学, アメリカ合衆国
- 鈴木 剛
大阪大学, 日本
- Xue Han
理化学研究所, 日本

【ポスターセッション】 13:40~16:10

- ショートオーラルセッション (学生)
- ポスターセッション
研究成果発表



2日目 3月4日 (水) 09:00 ~ 14:30

【講演】

- Kandasami Asokan
石油・エネルギー研究大学, インド
- Vijay Raj Singh
南ビハール中央大学, インド
- 原田 慈久
東京大学, 日本
- 出田 真一郎
広島大学, 日本
- 横川 凌
広島大学, 日本
- Petra Fromme
アリゾナ州立大学, アメリカ合衆国
- 東浦 彰史
広島大学, 日本



広島大学放射光科学研究所
hisor@hiroshima-u.ac.jp

主催



後援



HIROSHIMA UNIVERSITY

The 30th Hiroshima International Symposium on Synchrotron Radiation

Materials and Life Science using VUV-SX Synchrotron Radiation :
Towards the future HiSOR-II project

Hiroshima University, Faculty Club
March 3-4, 2026

Day1 March 3
09:30am ~ 05:30pm

【Oral Session】

○ Sidney Hecht
Arizona State University, USA

○ José Luiz S Lopes
University of São Paulo, Brasil

○ Seth Ariel Tongay
Arizona State University, USA

○ Takeshi Suzuki
The University of Osaka, JAPAN

○ Xue Han
RIKEN, JAPAN

【Poster Session】 01:40pm~04:10pm

○ Student Short Oral Session

○ Poster Session
Research results presentation



Day2 March 4
09:00am ~ 02:30pm

【Oral Session】

○ Kandasami Asokan
University of Petroleum and Energy Studies,
India

○ Vijay Raj Singh
Central University of South Bihar, India

○ Yoshihisa Harada
University of Tokyo, Japan

○ Shinichiro Ideta
Hiroshima University, Japan

○ Ryo Yokogawa
Hiroshima University, Japan

○ Petra Fromme
Arizona State University, USA

○ Akifumi Higashiura
Hiroshima University, Japan



Research Institute for Synchrotron Radiation Science,
Hiroshima University
hisor@hiroshima-u.ac.jp

ORGANIZER



HIROSHIMA UNIVERSITY

SUPPORTERS



令和 8 年 2 月 1 9 日

2025 年度 HIRAKU-Global 年次大会開催のお知らせ
— 中国・四国地域から世界へ羽ばたく次世代研究リーダー —

広島大学が推進する若手研究者育成プログラム「HIRAKU-Global」において、2025 年度 HIRAKU-Global 年次大会 “Future Global Research Leaders from Chugoku-Shikoku” を、下記のとおりオンライン開催いたします。

本大会では、2023 年に活動を開始した第 4 期 HIRAKU-Global 教員が登壇し、これまでの研究成果の報告に加え、キャリア形成の歩みや今後の研究・国際展開の展望について発表します。

また、国際研究の最前線で豊富な経験を有する 原 正彦 氏（日本学術振興会 ロンドン研究連絡センター長）を講師に迎え、国際研究ネットワーク構築をテーマとした基調講演を予定しています。

若手研究者のみならず、研究者育成や国際連携に関心を持つすべての方にとって、刺激的で実践的な知見を得られる機会となりますので、ぜひご参加ください！

- 日 時 令和 8 年 2 月 27 日（金）13:00～17:00（オンライン）
- 対 象 若手研究者、メンターを務めているシニア研究者、若手育成に関心のある研究者など
- 言 語 英語（Zoom 翻訳あり）
- 申し込み <https://forms.office.com/r/Cn576KUeWs>
- ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku-g/news/94104>
- 取 材 すべてのプログラムについて取材が可能です。講師、参加者へのインタビューについては、問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
HIRAKU-Global Office Tony Z. Jia 教授
メール：tzjia@hiroshima-u.ac.jp

2025年度HIRAKU-Global 年次大会

Future Global Research Leaders from Chugoku-Shikoku

2026年2月27日（金） | 13:00 – 17:00 JST | オンライン: Zoom | 言語: 英語

【概要】 ABSTRACT

HIRAKU-Globalは、中国・四国地方の若手研究者の世界トップクラスへの育成を目指しており、毎年新たな研究者がHIRAKU-Globalの一員としてプログラムに参加しています。2026年2月27日（金）、オンラインにて2025年度HIRAKU-Global年次大会を開催します。今回の大会では、2023年に活動を開始した第4期HIRAKU-Global教員が、これまでの研究成果の報告やキャリア形成、今後の展望について発表します。工学、化学、生物学、医科学など多様な分野の研究者による発表に加え、他の期のHIRAKU-Global教員やコンソーシアムメンターからのフィードバックも予定しています。さらに、国際的研究のリーダーシップに豊富な経験を持つ日本のシニア研究者による国際研究ネットワーク構築に関する基調講演を予定しています。若手研究者のみならず、すべての参加者にとって刺激的な機会となるはずです。ぜひご参加ください！

【第4期 HIRAKU-GLOBAL教員講演】

HIRAKU-GLOBAL SPEAKERS

アルベルト ガジェゴス ラモネト

ALBERTO GALLEGOS RAMONET

徳島大学 大学院社会産業理工学研究部

Tokushima University Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

河原 大輔 KAWAHARA DAISUKE

広島大学病院 放射線部

Hiroshima University Hiroshima University Hospital - Department of Radiology

4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

島崎 航平 SHIMASAKI KOHEI

広島大学 大学院先進理工系科学研究科

Hiroshima University Graduate School of Advanced Science and Engineering

4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

加藤 大貴 KATO HIROTAKA

愛媛大学 大学院理工学研究科

Ehime University Graduate School of Science and Engineering

4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

湊 拓生 MINATO TAKUO

広島大学 大学院先進理工系科学研究科

Hiroshima University Graduate School of Advanced Science and Engineering

4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

【参加登録】 REGISTRATION

参加費：無料

申込締切：2026年2月25日（水）23:59

申込フォーム：<https://forms.office.com/r/Cn576KUeWs>



【お問い合わせ】 CONTACT

HIRAKU-Global 事務局 / 広島大学 学術・社会連携室

E-mail: hiraku-global@office.hiroshima-u.ac.jp

【基調講演】

KEYNOTE SPEAKER

原 正彦 HARA MASAHIKO

日本学術振興会 (JSPS) ロンドン研究連絡センター長

DIRECTOR, JSPS LONDON

Building and Leading International Research Networks

国際共同研究の豊富な経験、および複数のMOU（国際研究交流協定）の交渉・締結に携わった経験をもとに、今後の国際協力ネットワーク構築の可能性について講演します。



原氏は1985年以降、理化学研究所および東京工業大学を拠点に多数の国際共同研究チームを率いてきました。これまで200名以上のポストドク研究者を受け入れており、その約半数は海外からの研究者です。ドイツのアーヘン工科大学のシニアフェロー、ロンドン芸術大学のサイエンティスト・イン・レジデンスを経て、現在は英国にてJSPS ロンドン研究連絡センター所長を務めています。

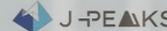
【主催】 HOST

文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」
地方協奏による世界トップクラスの研究者育成 (HIRAKU-Global)

【共催】 Co-Hosts

科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」
広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」
広島大学 J-PEAKS



Background Image Credits:

KATO Hiroataka

HARA Masahiko

地方協奏による世界トップクラスの研究者育成

HIRAKU GLOBAL
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users Driving Global Impact

LEAD ORGANIZATION



HIROSHIMA UNIVERSITY

PARTNER ORGANIZATIONS



YAMAGUCHI UNIVERSITY



TOKUSHIMA UNIVERSITY



EHIME UNIVERSITY

HIRAKU-Global Annual Conference FY2025

Future Global Research Leaders from Chugoku-Shikoku

Friday, February 27th, 2026 | 13:00 – 17:00 JST | Online: Zoom | Language: English

ABSTRACT

HIRAKU-Global exists to support the development and growth of early career researchers in the Chugoku-Shikoku region, with several researchers joining the program each year as part of a new HIRAKU-Global Researcher (HGR) Cohort. This year, we will hold the HIRAKU-Global Annual Conference FY2025 on February 27th, 2026 online, and are looking forward to hearing updates from the 4th HGR Cohort, who have just reached the mid-point of their HIRAKU-Global journey since starting in 2023. These researchers come from a broad range of backgrounds, including engineering, chemistry, biology, and medical science. We look forward to hearing about not just how they got to where they are now in their respective research careers, but especially about where they believe they are headed in the years to come, as HIRAKU-Global Consortium Mentors will also provide feedback and advice during the conference. Finally, a keynote presentation featuring a senior researcher from Japan with extensive experience building and leading international research networks will hopefully inspire not only the 4th HGR cohort, but other HGRs and all attendees at-large as well.

HIRAKU-GLOBAL SPEAKERS

ALBERTO GALLEGOS RAMONET

Tokushima University
Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences
4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

KAWAHARA DAISUKE

Hiroshima University
Hiroshima University Hospital - Department of Radiology
4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

SHIMASAKI KOHEI

Hiroshima University
Graduate School of Advanced Science and Engineering
4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

KATO HIROTAKA

Ehime University
Graduate School of Science and Engineering
4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

MINATO TAKUO

Hiroshima University
Graduate School of Advanced Science and Engineering
4th Cohort HIRAKU-Global Researcher

REGISTRATION



Registration Fee: Free

Deadline: February 25th, 2026 @ 23:59 JST

Registration Form: <https://forms.office.com/r/Cn576KUeWs>

CONTACT

HIRAKU-Global Office, Office of Research and Academia-Government
Community Collaboration, Hiroshima University
E-mail: hiraku-global@office.hiroshima-u.ac.jp

KEYNOTE SPEAKER

HARA MASAHIKO

DIRECTOR, JSPS LONDON

Building and Leading International Research Networks

Drawing on his extensive experiences in international joint research and in negotiating and concluding several MOUs, he will discuss future possibilities for building international collaboration networks.



HARA Masahiko has led many international collaborative research teams based at RIKEN and Tokyo Tech since 1985. He has hosted >200 postdoctoral researchers in his labs in Japan, "half of whom came from overseas. After serving as a Senior Fellow at RWTH Aachen University in Germany and as a Scientist in Residence at the University of the Arts London, he is currently in the UK as the Director of JSPS London.

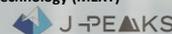
HOST

"Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users Driving Global Impact (HIRAKU-Global)" under the "Strategic Professional Development Program for Young Researchers" by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

CO-HOSTS

"Program for Developing and Supporting the Next-Generation of Innovative Researchers at Hiroshima University (SPRING)" under the "Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation" by the Japan Science and Technology Agency (JST)

"Hiroshima University J-PEAKS" under the "Program for Forming Japan's Peak Research Universities (J-PEAKS)" by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)



Background Image Credits:
KATO HirotaKa
HARA Masahiko



HIRAKU-Global Annual Conference FY2025

Future Global Research Leaders from Chugoku-Shikoku

Friday, February 27th, 2026 | 13:00 – 16:55 JST | Online: Zoom | Language: English



SCHEDULE (TENTATIVE) – ALL TIMES IN JST

Opening Session

13:00 MITSUDA NORIAKI
Ehime University
Executive Director/Vice President
HIRAKU-Global Operating Council Member

Opening Remarks

13:05 TONY Z. JIA
Hiroshima University
HIRAKU-Global Program Manager

Introduction to HIRAKU-Global

4th HIRAKU-Global Researcher Cohort Presentations - Research Updates

13:20 ALBERTO GALLEGOS RAMONET
Tokushima University
Chair: INOUE Sayako

From Contribution to Collaboration:
Networking in open-source projects

13:50 KATO HIROTAKA
Ehime University
Chair: WATANABE Chiho

Plant development and evolution ~expanding
research and collaboration networks~

14:20 KAWAHARA DAISUKE
Hiroshima University
Chair: SATO Yu

From medical Images to Drug Discovery: AI
Linking Visible Tumors to Molecular Insights

14:50 Break

15:00 MINATO TAKUO
Hiroshima University
Chair: SATO Ryota

Friendship and research

15:30 SHIMASAKI KOHEI
Hiroshima University
Chair: KOIKE Mizuho

TBD

Keynote Presentation

16:00 HARA MASAHIKO
JSPS London, UK
Director

Building and Leading International Research
Networks

Closing Session

16:50 SUZUKI EI-ICHIRO
Director, Kihara Memorial Yokohama Foundation for the
Advancement of Life Sciences
HIRAKU-Global Consortium Mentor

Closing Remarks

REGISTRATION

Registration Fee: Free

Deadline: February 25th, 2026 @ 23:59 JST

Registration Form: <https://forms.office.com/r/Cn576KUeWs>



HOST

"Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users Driving
Global Impact (HIRAKU-Global)" under the "Strategic Professional
Development Program for Young Researchers" by the Ministry of Education,
Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

CONTACT

HIRAKU-Global Office, Office of Research and Academia-Government
Community Collaboration, Hiroshima University
E-mail: hiraku-global@office.hiroshima-u.ac.jp

CO-HOSTS

"Program for Developing and Supporting the Next-Generation of Innovative Researchers at
Hiroshima University (SPRING)" under the "Support for Pioneering Research Initiated by
the Next Generation" by the Japan Science and Technology Agency (JST)

"Hiroshima University J-PEAKS" under the "Program for Forming Japan's Peak Research
Universities (J-PEAKS)" by (MEXT)



令和 8 年 2 月 1 9 日

どなたでも参加可能！第 10 回広大きてみんセミナー
「時間栄養学×フルーツ」を開催（3/14-3/15）
～果物の健康効果を体験しながら、おやつ的重要性を学ぼう！～

広島大学きてみんさいラボでは、地域に開かれた学びの拠点として、多様なテーマで「広大きてみんセミナー」を定期的を開催しています。

第 10 回となる今回は、「時間栄養学 × フルーツ」をテーマに、果物の健康効果やおよつちの摂り方について、研究成果をもとに分かりやすく学べる体験型セミナーを実施します。

本セミナーでは、果物が健康に与える影響、成長期の子どもにとってのおよつちの役割、大人の健康的な食生活における果物の取り入れ方、「何を」「いつ」食べるとよいのかといった点について解説します。

また、会場ではベジメーターを用いて、指先に LED 光を当てることで果物・野菜の摂取量をその場で測定できる体験や、冷凍フルーツの試食も行います。子どもから大人まで、楽しみながら学べる内容となっています。

ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

<開催概要>

日 時：2026 年 3 月 14 日（土）、15 日（日）

午前の部 10:00～12:00

午後の部 13:00～15:00

会 場：広島大学きてみんさいラボ（広島市南区松原町 2-62 JP ビル 2 階）

対 象：子どもから大人まで

参加費：無料

参加方法：事前申込不要（直接会場へお越しください）

※参加者多数の場合はお待ちいただく場合があります。

定 員：なし（会場収容定員は 26 人）

講 師：田原 優（広島大学大学院 医系科学研究科 公衆衛生学 准教授）

田頭 侑素（広島大学大学院 修士 2 年 管理栄養士）

共 催：アヲハタ株式会社

後 援：広島県

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学

TEL：082-257-5166（9:00～18:00 ※土日・祝日を除く）

E-mail：m245450@hiroshima-u.ac.jp



第10回 広大きてみんなセミナー

参加費
無料



時間栄養学 × フルーツ



研究で分かった果物の健康効果を体験しながら、おやつ的重要性を学ぼう!

子供は成長のために、大人は健康的な食生活のために、

どんなおやつを摂るのがいい? いつ摂るのがいい?

ベジメータ®で果物・野菜の摂取量をその場でチェックできます。

気軽に立ち寄ってみてください!



指先に LED 光を当て
野菜摂取量を評価します

Enjoy!
フローズン
フルーツの
試食もあるよ!

日時

2026年
3月14日(土)、15日(日)

午前の部 10:00~12:00

午後の部 13:00~15:00

対象

子供から大人まで

費用

無料

参加方法

申し込み不要

直接会場までお越しください
※参加人数が多い場合はお待ち頂く
場合がございます。

会場

広島大学きてみんなさいラボ
(広島駅南口、JPビル2階)



〒732-0822 広島県広島市南区松原町 2-62 広島 JP ビルディング内 2階
広島大学きてみんなさいラボ (電話番号: 082-207-1764)

講師



広島大学大学院
医系科学研究科
公衆衛生学 准教授
田原 優



広島大学大学院
修士 2年
管理栄養士
田頭 侑菜

きてみんなさいラボ 地図
(Google Map)



研究室 HP
(yutahara.com)



インスタグラム
(@yutahara_lab)



広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 基礎社会医学棟 723

TEL: 082-257-5166 (9時~18時 ※土日・祝日を除く)

E-mail: m245450@hiroshima-u.ac.jp

令和 8 年 2 月 19 日

**第 64 回 広島大学大学院人間社会科学研究科
造形芸術教育学領域・教育学部造形芸術系コース
修了・卒業制作展／論文発表会を開催します**

広島大学では、大学院・学部の教育研究活動の成果発表の場として、造形芸術教育学領域および教育学部造形芸術系コースの学生による修了・卒業制作展および論文発表会を開催いたします。

今回は絵画・彫刻・デザインをはじめとする多彩な造形芸術作品の展示と、教育・学術に関する論文発表を行い、学生の学修成果を社会に公開します。

本展・発表会は、学生の学修成果を広く紹介し、教育学と造形芸術の分野における創造性と教育的価値を社会に発信する機会として位置付けられています。ご来場の皆さまには作品鑑賞と発表内容に触れていただくことで、次世代の芸術教育と創造領域への理解を深めていただけます。

本展・発表会を通して学生の成果をご覧いただければ幸いです。ぜひとも足をお運びください。

記

<開催概要>**日 時：**

- ・学内展 2026年2月7日(土)～2月15日(日) 10:00～17:00
- ・学外展 2026年2月17日(火)～2月22日(日) 9:00～17:00
- ・論文発表会 2026年2月22日(日) 13:00～14:50
- ・ギャラリートーク 2026年2月22日(日) 15:30～16:30

会 場：

東広島キャンパス／第 1 会場：福山通運小丸賑わいパビリオン
第 2 会場：中央図書館 1 階 地域・国際交流プラザ
学外展：広島県立美術館 地下 1 階 県民ギャラリー

入場料：無料**出品内容・展示作品：**

絵画、彫刻、デザインなど多ジャンル作品（合計約 54 点）、大学
院生・学部生による論文発表

※展示点数や出品者数は変更の可能性があります。

主 催：広島大学 大学院人間社会科学研究科／教育学部

【お問い合わせ先】

広島大学大学院 人間社会科学研究科 造形芸術教育学領域 資料室
TEL/FAX：082-424-7140

卒業展

2026

入場無料

第64回 広島大学

修了・卒業制作展 / 論文発表会

大学院人間社会科学研究科 造形芸術教育学領域

教育学部 造形芸術系コース

造形芸術教育学

美術教育学

造形芸術学

デザイン

彫刻

絵画

● 学内展

広島大学

東広島キャンパス

第1会場 福山通運小丸賑わいパビリオン

第2会場 中央図書館 1階 地域・国際交流プラザ

2.7 Sat - **2.15** Sun

10:00-17:00 (第2会場は上記期間内の平日のみ開場)

● 学外展

広島県立美術館

地下1階 県民ギャラリー

2.17 Tue - **2.22** Sun

9:00-17:00

ギャラリートーク

2.22 Sun

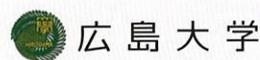
15:30-16:30

● 論文発表会

2.22 Sun

13:00-14:50

GRADUATION WORKS EXHIBITION



広島大学

主催: 広島大学 大学院人間社会科学研究科 / 教育学部

後援: 広島県教育委員会 / 広島市教育委員会 / 東広島市教育委員会 / 中国新聞社 / NHK広島放送局 / 中国放送 / 広島テレビ / 広島ホームテレビ / テレビ新広島 / 広島エフエム放送 / FMちゅーピー 76.6MHz / 一般社団法人尚志会 / 一般社団法人広島大学東雲同窓会 / 広島大学教育学部後援会

連絡先: 〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1 広島大学 大学院人間社会科学研究科 造形芸術教育学領域 資料室 TEL・FAX:(082)424-7140

広島大学 教育学部 第四類

造形芸術系コース(美術教育学プログラム)とは？

美術と美術教育の専門家を育成

絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術教育の各領域で、表現力・鑑賞力を形成すると共に、その意義や歴史・理論などを探求し、生涯にわたる美術表現活動やカリキュラムなどに関する専門教育を行います。

※令和7年度入学生から「造形芸術系コース」は「美術教育学プログラム」に名前を変更しました。

● カリキュラム

1・2年次に美術と美術教育のさまざまな分野を一通り学んだ後、3年次後期に卒業研究のための専門領域を選択します。授業や大学生活を通して様々な経験をしながら、学びたい分野をじっくりと考えて決めることができます。

3年次後期からの卒業研究では、「美術教育学」「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」「造形芸術学(美術理論・美術史)」の6つの専門領域にわかれて制作と研究に取り組み、「教える」を多角的に研究します。

● 進路とキャリア

卒業生は、教員、各種文化施設における学芸員、美術・工芸、デザイン、印刷、出版、公務員など、幅広い分野で活躍しています。

大学院への進学によって専門性をさらに深めることも推奨しており、広島大学大学院では、修士および博士の学位を取得可能です。

広島大学 教育学部 第四類 造形芸術系コース(美術教育学プログラム)のInstagramアカウントでは、美術教育学プログラムの入学を目指す受験生をはじめ、美術関係者や保護者等を含む社会一般に向けて、展覧会の情報や「美研ブログ」、「卒業ブログ」を更新しています。

「美研ブログ」では、学部1～3年生の制作の様子や日常について、「卒業ブログ」では、学部4年生の卒業制作や研究について更新しています。

● 取得できる資格

- ・ 中学校教諭一種免許状(美術)
- ・ 高等学校教諭一種免許状(美術)

※そのほか、小学校教諭一種免許状や、美術科以外の各教科の中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状、学芸員資格なども、所定の科目を履修することにより取得することが可能です。

Instagram /



hiro dai_biken

美研公式 HP /



● 学内展

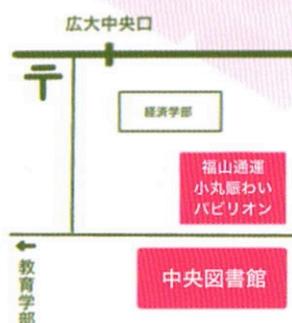
2.7 Sat - 2.15 Sun

10:00-17:00

広島大学東広島キャンパス

第1会場 福山通運小丸賑わい
パビリオン

第2会場 中央図書館1階 地域・
国際交流プラザ



● 学外展

2.17 Tue - 2.22 Sun

9:00-17:00

2.22(Sun)
論文発表会 13:00-14:50
ギャラリートーク 15:30-16:30

広島県立美術館
地下1階 県民ギャラリー

